

## 沿革

昭和55年 1月	名古屋市基本計画策定「障害者福祉センター（総合リハビリテーションセンター）を建設し、相談事業、治療、機能回復訓練、職業訓練など、総合的な機能回復訓練を実施し、社会復帰を促進する。」
昭和57年 3月	名古屋市国際障害者年長期計画提言「障害者に対する総合的で一貫性のあるリハビリテーションの必要性及びその中心となるリハビリテーションセンターの設置が必要である。」
昭和57年 8月	名古屋市身体障害者総合リハビリテーションセンター建設検討委員会設置（会長 助役、委員16人）
昭和58年11月	名古屋市身体障害者総合リハビリテーションセンター基本構想策定
昭和60年 2月	名古屋市身体障害者総合リハビリテーションセンター建設委員会設置（委員長 永井肇 名古屋市立大学教授、委員20人）
昭和60年度	基本設計
昭和60年 6月	「福祉スポーツセンター」整備決定
昭和61年度	実施設計
昭和62年 7月	建設着工（建設62、63年度）
昭和63年 7月27日	名古屋市福祉健康センター事業団設立準備総会開催
昭和63年10月 1日	名古屋市福祉健康センター事業団設立（理事長 大澤正隆）
平成元年 3月23日	建設工事完了
平成元年 5月 1日	名古屋市身体障害者更生相談所がセンター内に移転
平成元年 9月21日	完成式
平成元年10月 1日	事業開始
平成 3年10月28日	天皇・皇后両陛下下行幸啓
平成 5年 5月24日	第2代理事長として名古屋市助役竹内正就任
平成 5年 6月 1日	名古屋市地域リハビリテーション事業を受託
平成 6年 4月 1日	事業団名及び施設名変更 〔名古屋市福祉健康センター 名古屋市総合リハビリテーションセンター 名古屋市福祉健康センター事業団 名古屋市総合リハビリテーション事業団〕
	初代専任センター長として、名古屋市立大学名誉教授永井肇就任
平成 7年 7月18日	医療部門増築工事着工
平成 9年 3月31日	医療部門増築工事完了
平成 9年 6月30日	医療部門（新病棟）供用開始
平成 9年 7月12日	なごや福祉用具プラザ事業開始
平成12年 4月01日	介護保険事業（通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション、居宅介護支援）開始
平成12年 4月 1日	高齢者住宅改修相談事業の受託
平成12年 4月 1日	家族介護者教室の受託
平成12年 4月 1日	障害者生活支援事業の試行
平成12年 5月24日	第3代理事長として名古屋市助役登内洋人就任
平成13年 4月 1日	障害者生活支援事業の受託
平成13年 4月 1日	名古屋市障害者スポーツセンター事業の受託
平成13年 4月 1日	高次脳機能障害支援モデル事業の開始
平成14年 5月26日	第4代理事長として名古屋市助役因田義男就任
平成14年 6月 1日	第2代センター長として名古屋市立大学名誉教授松井宣夫就任 名誉センター長として永井肇就任
平成16年 8月 2日	介助犬等相談・認定事業の開始
平成17年 4月 1日	名古屋市総合リハビリテーションセンターの指定管理者として名古屋市と協定の締結
平成17年 4月 1日	高次脳機能障害支援事業の管理
平成17年 6月 1日	第5代理事長として前名古屋市健康福祉局長木村剛就任（専任・常勤）
平成17年10月 1日	障害者アフターケア事業開始（西部リハビリテーション事業所開設）
平成18年10月 2日	第6代理事長として前名古屋市シルバー人材センター専務理事兼事務局長小嶋勝就任（専任・常勤）
平成19年 3月22日	通所リハビリテーション棟増築工事着工
平成19年 5月31日	通所リハビリテーション棟増築工事完了

平成19年 6月10日	通所リハビリテーション棟開所式
平成21年 4月 1日	名古屋市障害者スポーツセンターの指定管理者として名古屋市と協定の締結
平成22年 2月13日	名古屋市総合リハビリテーションセンター開設20周年事業(中区役所ホール)
平成22年 6月 1日	第7代理事長として名古屋大学名誉教授青木國雄就任